

一 編成

通信隊の編成から入隊までの状況について（沖縄県立第二中学校）

0130

昭和十九年十二月末頃、軍の要請に基づいて、二中校で二、三年生に対し、通信隊の選抜試験が軍によって行われ、約一、二〇名位が合格し、昭和二十年一月初頃編成された。

昭和二十年一月初頃、編成時から三月二十日頃まで首里市赤田町の民家に分宿し、無線、有線、暗号の各班に分れ、首里市赤田町の教会および感化院において、中師團通信隊の將校、下士官数名（氏名記憶なし）によって教育が為された。

昭和二十年三月二十一日頃、軍から入隊志願承諾書が配られ、親の承諾印を貰って来いと言われ、一応家族の許に归され、二、三日後に承諾印を貰って軍に提出した。

中には親が承諾しないので、印鑑を盗み自から捺印して提出したものもいた。

二 入隊

昭和二十年三月二十六日頃、首里市赤田在の壕（有線は師範学校だったようである）の六三師團司令部通信隊へ石三五九九長（川大尉）に入隊し、左のとおり配属された。

通信ニ

通信二

無線班（長、飯野中尉とがいた）四五名位

有線 不明

暗号

入隊と同時に陸軍二等兵に任ぜられ、軍服、軍靴、軍帽、短剣、銃（隊員の半数位）が支給され、申告が行われた。階級章は在庫がないとの理由で與えられなかったと記憶している。

資料提供者 上原安栄（当時二年）

0131